

令和4年度 こども園における自己評価集計

ひいらぎこども園

評価者数 (50人)

A:大変よい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

項目	内容	評価	○意見・★改善点
目標について 教育・保育	(1) 法人理念・教育保育目標の具現化に向け、園児の実態に即した目指す子ども像を設定しているか。	A	○子どもの「やってみたい」という思いと実体験を大切にできている ○目指す子ども像を意識しながら保育をしている
	(2) 法人理念、教育・保育目標、目指す子ども像は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	A	
指導計画	(1) 全体的な計画は子どもの姿を基に作成しているか。	A	○毎年子どもの姿から計画を見直ししている ○目指す子ども像を基に考え、作成している ★一人ひとりに応じたカリキュラムの作成が必要 ★話し合いの時間確保の為に週末休憩を一緒にとるなどの工夫が必要 ★学びを深め、具体的にわかりやすく保護者に伝えていけるようにする。 ★評価の後、改善に至っていない部分があり、常により良い保育を目指す姿勢を大切にする ★伸ばしたい力を今後も連絡帳やノートで伝えていく
	(2) 年間目標や月のめあては、園の教育・保育の目標・目指す子ども像を基に設定しているか。	A	
	(3) 1日の流れデイプログラム等は毎年見直しをしているか。	B	
	(4) 保育者間で、活動のめあて・活動計画・支援を必要とする子どもへの対応についてしっかりと共有し、教育・保育を行っているか。	A	
	(5) 子どもの生活や遊びを通した学びがどのような資質・能力を伸ばすことにつながっているのかについて、常に頭におきながら、連絡帳やブログ等を書いているか。	B	
	(6) 計画・実施・評価・改善(PDCAサイクル)を常に意識しているか。	B	
教育・保育についての姿勢	(1) 子ども一人ひとりの人格を尊重して教育・保育を行っているか。	A	○研修や会議で人権について学び、保育者として子ども一人ひとりを尊重した保育に努めなければならない責任を改めて感じた ○個々の思いや表現を大切にしながら共感的で温かい関わりを心がけている ○身近な自然を保育に取り入れるようにした ★子どもの手の届く所に季節ならではの自然物を用意しておきたい ★定期的にエピソード記録を活用していきたい ★言葉遣いや子どもたちの呼び方を徹底していく ★身だしなみや丁寧な言葉がけを常に心掛けるようにしたい
	(2) 子どもの主体的な活動を促す環境構成を常に工夫しているか。	B	
	(3) 子どもの活動や学びを広め、深める援助を行っているか。	B	
	(4) 自然の変化を敏感に受け止め、活動に取り入れているか。	B	
	(5) エピソード記録を書くことによって、子どもの育ちを見極め、自分の保育の見直しに努めているか。(学期に1枚以上は作成)	B	
	(6) 子どもの見本となるような人権意識・言葉遣い・姿勢・整理整頓・身だしなみ等、様々なことへのチャレンジを心がけているか。	B	
行事について	(1) 行事や園外保育の在り方について、教育・保育目標の具現化(注1)において適切であるかどうか見直しをしているか。	B	○普段の遊びや好きな絵本、子どもがやりたいことや興味をもったことを基に無理なく活動に取り入れ、子ども主体の行事が実施できた ○ブログや動画等で行事や日頃の遊びを保護者に伝えることができた ★継続できないものもあるので工夫が必要 ★保護者に十分に伝わっているかわからない部分もある
	(2) 普段の遊びを行事に生かし、子どもが意欲的に取り組み、その後も継続するような活動となっているか。	A	
	(3) 保護者の願いや意見を参考に行事を考えているか。	B	
	(4) 写真や動画などを活用して、背景にある保育者の意図が伝えられているか。	A	

同僚性	(1)一人一人が、自分の役割を理解し、責任を持って果たすよう努力しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの変化や成長について話し合い、気付き合うことができた ○保育活動のアイデアを教え合っ て学び合うことができた ○第2職員室ができたことで、他学 年とのコミュニケーションが多とれ た ★仲間意識を高めるために、さらに 交流を深めたい ★受講した研修内容を伝え合う機会 を主体的に作っていく ★目上の職員にも意見を伝えられる 関係を自らつくる努力をする ★学年を越えてのフォローを増やして いく
	(2)子どもの他愛のない行動や子どもとの関わり方を常に話題にし、意見を出し合っているか。	A	
	(3)活動のアイデアなどを学び合い、教え合っているか。	A	
	(4)互いの良さや努力を認め合い、感謝の気持ちや称賛・憧れの気持ちを伝え合っているか。	A	
	(5)他の職員の仕事を進んでフォローしているか。	A	
	(6)考えが異なる相手にも積極的に話しかけ、質問・疑問を投げかけて理解しようとしているか。	B	
園長の役割	(1)各職員の持ち味や長所に目を向けて褒め、それを伝えること率先して行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各クラス担任の意志を尊重し、チャ レンジを応援し、助言や援助を行っ た ★個人面談を実施し、全ての職員の よいところをしっかりと、本人に伝 え、共によりよい保育を目指したい
	(2)各クラスの教育・保育や職員の思い・考えを肯定的に受け止め、チャレンジを後押ししているか。	A	
	(3)園の課題に応じ、自治体や法人等との改善の方策に関する協議や、関係機関との連携を主体的に行っているか。	A	
副園長・指導保育教諭の役割・	(1)園の理念や評価に基づく取組の方向性を、日々の実践や子どもの姿と結び付けて、職員に伝えているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○リーダーと連携して、園の理念に そった実践を推進することができた ★記録や計画を基に対話す機会をさ らに増やしていく(エピソード記録) ★個々の職員のアイデアを引き出 し、一人一人の特性に合わせて 実現への支援をしていく
	(2)ミドルリーダーと連携して、個々の職員の思いを把握し、課題となっていることの背景や要因を整理しながら、日々の実践を捉えるためのヒントを提示して、本人の気付きを促しているか。	B	
	(3)保育教諭等の作成した記録や計画を基に対話しながら、次の教育・保育に向けた思いやアイデアを引き出し、イメージを明確にしていくことを支えているか。	B	
食育	(1)教育保育目標・目指す子ども像に基づいた「食育計画」を作成しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の子どもの月齢や発達 段階に応じた対応ができた (食材の大きさ、スプーンの持ち方、 箸への移行) ○保護者の困り感に向き合い、適切 なアドバイスを伝えるようにした ○給食会議により、献立の改善と共 通理解ができた ○食べることへの意欲が高まった ★畑の活用工夫で、食べものへの興 味関心を高める ★職を通した具体的な保護者支援の し方を工夫する ★クッキングを復活させる
	(2)衛生管理を確実に行き、安全な食事提供を行っているか。	A	
	(3)園児の発育・発達に応じた食事の提供になっているか。	A	
	(4)子どもの食事環境や食事の提供の方法を常に見直し、改善しているか。	A	
	(5)園の日常生活において「食」に関心を持たせる環境が整っているか。	B	
	(6)食を通した保護者支援がされているか。	B	
保健・安全指導	(1)年間指導計画・月案に生かされるような具体的な保健指導を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○保健だよりを通して、感染症予防 対策や必要な生活習慣を知らせ ることができた ○毎月避難訓練を実施し、身の守 り方を学んだり、振り返りで改 善したりして次回に活かしている ★手洗いの声掛けを積極的に行う
	(2)避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
	(4)園児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B	

園内研修	(1)教育・保育要領を常に手元に置き、参考にしながら、計画・実践・記録(連絡帳・日誌・エピソード)を書いているか。	B	○職員が学びたい内容を研修できるよう計画を立てて進めている ○研修内容を屋礼で報告し共有することができた ○学んだことを改善に活かすよう努めている ★教育・保育要領を常に手元に置いて活用したい
	(2)園内研修の計画は、職員が主体的に行っているか。	B	
	(3)研修の成果を日常の保育や運営に生かし、園児の安全や育ちに反映させているか。	B	
	(4)公開保育等に積極的に取り組み、園児理解・保育の質の向上に繋げているか。	B	
外部研修	(1)各種研修会や講習会に主体的・計画的に参加しているか。	A	○受講後は屋礼で内容を報告し共有できるようにしている
	(2)受講した研修内容や学びを、園全体に研修報告として知らせているか。	B	
個人情報保護	(1)園児や保護者に関する個人情報に適切に取り扱っているか。	A	○園内で適切に保管・管理することができている
	(2)個人情報の保管は適切であるか。	A	
施設設備整備	(1)園内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	○安全点検を全員で実施し、安全に対する意識を高めることができた ○不審者対応訓練を行い、反省点を改善に活かしている ★対応マニュアルをしっかり理解しておく ★点検の迅速な提出 ★普段からヒヤリハットの収集と伝達を全職員で取り組む
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A	
	(3)ヒヤリハットを出し合い、職員全員が共有し、安全確保に努めているか。	B	
	(4)不審者に対応する周到的配慮を行っているか。	A	
小学校等との連携	(1)連携・接続のため、日常的に情報を交換し、それを連携・接続に生かしているか。	B	○連絡会を通じて子どもの状況を共有し、スムーズな就学に繋げている ○療育施設と連携をとり目標や支援内容を共有できた ★更に定期的な連携を
	(2)指導者同士が打ち合わせを行い、子ども理解や互いの教育・保育に対して理解を深め、共通理解を図っているか。	B	
家庭・地域社会との連携	(1)遊びの重要性や保育の意図を保護者に理解してもらえるように、発信しているか。	B	○感染対策をしながら、親子ふれあい遊びを実施し、交流できた ○動画を配信し、保育の意図を伝えられた ★アンケート結果を次年度に活かしていきたい ★地域行事を再開させ、交流を進めたい
	(2)保護者アンケートや意見を貴重な資料として、次の教育・保育に反映させているか。	B	
	(3)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	C	
子育て支援の推進	(1)地域の子育て家庭が親子で遊ぶ場を設定しているか。	A	○コロナが落ち着いている期間は園庭開放や親子教室をできる限り実施した ○ソーシャルワーカーを中心に、他機関と密に連携して、子どもの育ちを見守り、保護者支援を行なった
	(2)話しやすい雰囲気のもと「子育て相談」を実施しているか。	A	
	(3)医療機関・児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A	
情報発信	(1)園だより・入園のしおり・HPなどで園の情報を発信しているか。	A	○これらに加え、動画配信によって、普段の子どもの姿を見てもらえるようにした
外部評価	(1)第三者評価を受審し、園運営に反映しているか。	A	○第三者評価の結果を受けて、よい点は、さらなる向上をめざして努力し、改善点に関しては、他機関と連携して不審者対策研修に取り組んだ
	(2)地域の意見や要望を園運営に反映しているか。	A	